

オンライン【ユニリハ】臨床シーティングセミナー理論編

～身近な物を利用して除圧効果のあるクッションを作ろう～

施設や病院内の限られた環境で、姿勢保持や座位保持を考え、結果を出していくためのセミナーです。全てのシーティング理論をまとめ、臨床で生かしていくための技術を習得し、臨床にあるものだけで行う座位保持の方法を学んでいただきます。

臨床には、古い車椅子がいっぱいあります・・・

↓

ケース1 臨床シーティング！！

シャキーン！

きれい！かっこいい！

最小3cmから最大10cmのかなりの厚み！！これが臨床でつくれます。スゴイ！

ゲルを入れよう！

エアセルを入れよう！

イーフォースを入れよう！

4つのroomに分かれているから、片麻痺、足操作、プッシャー現象に対応可能

【物理学】分散力を支持力へ変換力の合成を応用して『たるみ』を姿勢の支持性に変換し利用します。

体重・身体質量

支持性 支持性

分散 分散

特殊な支持物で、分散を支持性に変えます。

注！板ではありません。板のみであると、支持性は出ません。

■理論編

世界中のシーティング、座位保持の概念や技術をまとめ、急性期、回復期、維持期それぞれの回復段階や状態に合わせた姿勢保持を考えます。

姿勢とは運動であり日常様々な姿勢を作るため、ひとつの概念や技術だけでは、運動を切り取った姿勢という画像を見ているようなもので応用できません。

運動や日常生活動作に合わせるためには画像ではなく、動画として姿勢を捉え、その障害回復段階やADL（日常生活活動）に合わせたシーティング、フィッティングの技術が必要となります。

これを踏まえて臨床に生かしていくための技術を習得します。